おもちゃも「安全」が大切です

食品には原材料表示や賞味期限など、安全に選ぶための情報があります。では、子どもが毎日手にするおもちゃの安全性は、どのように確認すればよいのでしょうか。実は、おもちゃにも安全を守るためのルールや目安があります。

●子ども用おもちゃにも安全基準があります

小さな子どもは、おもちゃをなめたり口に入れたりして遊ぶことがあります。そのため、乳幼児向けのおもちゃには安全性を確保するための基準が設けられています。日本では食品衛生法により、鉛などの重金属や一部のフタル酸エステル類といった有害な化学物質の使用が制限されており、健康への影響が生じないよう配慮されています。食品に安全基準があるのと同じように、乳幼児向けのおもちゃにも安全を守るためのルールがあります。

●STマークは安全性の目安

さらに、おもちゃを選ぶ時の目安になるのが「STマーク」です。

これは一般社団法人日本玩具協会が運営する安全マークで、けがをしにくい構造になっているか、燃えやすくないか、化学的な安全性に問題がないかなど、基準を満たしたおもちゃに表示されています。ただし、STマークが付いていないおもちゃが危険だというわけではありません。STマークは安全性を確認する際の目安の一つとして活用してください。

●対象年齢も確認しましょう

そして、「3歳以上」「6歳以上」などの対象年齢表示も大切な情報です。これは遊び方の難しさだけでなく、小さな部品の誤飲の危険性など、子どもの発達段階や安全面を考慮して設定されています。

食品を購入するときに安全性を気にするように、おもちゃも「安いから」「人気だから」だけではなく、「安全に遊べるか」という視点を持つことが大切です。そして、どんなに安全に配慮されたおもちゃでも、最後に子どもを守るのは大人の見守りです。

おいしい食べ物で体を育て、安全なおもちゃで心を育てる。対象年齢やSTマークを参考にしながら、子どもの発達に合ったおもちゃを選び、安心して遊べる環境を整えたいですね。



東海コープ
ホームページに
「おいしくって、
安全なおはなし」の
バックナンバーが
あります。

2026年
12月1週
(47号)

東海コープからの

おいしくって、安全なおはなし

